

研究情報公開

<p>研究課題名</p>	<p>人工呼吸器装着中の急性・患者の Comfort ニーズを捉えるためのアセスメント指標とそのアウトカムの評価：実装研究</p>
<p>概要 (目的・対象・方法)</p>	<p>【研究の目的】人工呼吸器を装着し会話ができない患者さんの思いや必要としているケアを、看護師が見逃さず気づけるようにする工夫（Comfort ニーズを捉えるためのアセスメント指標）を取り入れ、その有効性を明らかにすることを目的とします。</p> <p>【研究対象】2026年5月以降から2030年11月までに、以下に当てはまる入院患者が対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院の救命集中治療室へ入院された方</li> <li>・人工呼吸器を使用して治療を受けた方</li> <li>・看護師のカンファレンスで本アセスメント指標が使用された方</li> </ul> <p>【研究への協力について】</p> <p>この研究では、患者さんに新たな検査や手続き、面談などをお願いすることは一切ありません。日常の診療の中で作成されているカルテや看護記録を、氏名などを削除して匿名化した上で分析に使用します。</p> <p>【研究の同意について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究は診療情報を匿名化して活用する「協力を希望されない方のみお申し出いただく方式（オプトアウト方式）」で実施します。</li> <li>・特にお申し出がない場合は研究に含まれます。</li> <li>・ご本人が意思を示せない間はご家族が代理で研究協力を希望しない旨をお申し出いただけます。</li> <li>・後日ご本人の意思表示が可能になった場合には、ご本人からのお申し出も随時受付します。</li> <li>・すでに匿名化・集計済みのデータは削除できない場合があります。</li> <li>・参加・不参加により治療や看護に影響することはなく、費用負担もありません。</li> <li>・患者様には協力しない権利が保障されており、不利益は一切ありません。</li> </ul> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究では、人工呼吸器を装着している患者に対して、看護師がカンファレンスの中で「Comfort ニーズアセスメント指標」を用いて患者の快適性のニーズを把握する取り組みを導入します。</li> <li>・研究者はその使用状況を把握するために、以下の方法でデータを収集・分析します。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師による患者カンファレンスの場면을研究者が参与観察し、アセスメント指標の活用状況や患者の Comfort(安楽や安心)に関する議論内容を記録します(音声・映像の記録は行ないません)。</li> <li>・カンファレンスで指標が使用された患者の診療録(カルテ)を閲覧し、診療経過に関する基本的な情報(例:病名、人工呼吸器の装着日数、バイタルサイン、看護記録など)、Comfort のニーズに関連する情報を収集・分析します。</li> <li>・収集した情報は、個人を特定できない形に加工し、アセスメント指標の活用実態および関連因子の分析に使用します。</li> </ul>
期間	・期間は名古屋市立大学倫理委員会承認および東京科学大学実施許可書発行後から 2030 年 11 月まで。
個人情報の取り扱い	本研究では、診療録(カルテ)などから得られる情報のうち、氏名・生年月日・ID 番号など、患者個人を直接特定できる情報は一切収集しません。研究に必要な情報(病名、人工呼吸器装着期間、看護記録の記述内容など)は、匿名化した ID とともに記録し、個人が特定されないよう十分に配慮します。収集した情報は厳重に管理し、研究終了後 10 年間保管したのち、適切な方法で廃棄します。
研究成果の公表	研究結果は、クリティカルケア分野の学術集会で公表することにより、研究結果を還元する予定です。公表の際は、個人や施設が特定されないよう配慮します。また、研究成果を論文にまとめクリティカルケア分野の学術誌に投稿し研究結果を還元する予定です。
問い合わせ先	<p>東京科学大学病院 救命救急センター</p> <p>研究責任者:古川 文子(師長)</p> <p>研究代表者:山田 知世(名古屋市立大学大学院 看護学研究科 博士後期課程 2 年/看護師)</p> <p>住所:〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45</p> <p>電話:03-5803-4783</p>